子ども発達支援ルームおれんじ学園sun

令和　4年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20.0%		【工夫】 ・部屋の電気をエリア分けして消すことで休養が必要なお子さんの午睡の境を確保している
②	職員の配置数は適切である	100%			【工夫】 ・医療ケアのお子さんもいるので安全第一の職員配置を心掛けている
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20.0%		・トイレは一段上がる必要がある 【工夫】 ・お子さんの特性に合わせて使用するスペースを職員同士で相談している
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10.0%		【工夫】 ・活動後に記録を取りながら改善点を児童発達支援管理責任者を中心に相談している
⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		100.0%		・今回が初めての自己評価実施なので結果を活かしていきたい
⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。		100.0%		・今回が初めての自己評価実施なので結果を活かしていきたい
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			100%	・今回が初めての自己評価実施なので結果を活かしていきたい
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			【工夫】 ・社内の同一サービスのスタッフとオンラインでの研修会や相談会を定期的に行っている
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	70%	30.0%		
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	70%	30.0%		・KIDSを使用している
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			・活動の中心になるスタッフはいるが協力して行っている

子ども発達支援ルームおれんじ学園sun

令和　4年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	20.0%		
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20.0%		【工夫】 ・夏休みには夏祭りの活動など季節に合わせて行っている
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	25%	50.0%	25%	・サービスを再検討することはあるが個別指導と集団指導の併用するケースは少ない
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20.0%		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有している	100%			
⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	50%	50.0%		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	20.0%		
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		80.0%	20%	
㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	90%	10.0%		
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に務めているか		50.0%	50%	

子ども発達支援ルームおれんじ学園sun

令和　4年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			100%	まだ高校を卒業するお子さんを経験していない
㉕	児童発達支援センターや発達障碍者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		30%	70%	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			100%	・個別指導のため機会がまだない
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	・まだ機会がない
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っている	90%	10.0%		
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			100%	・今後検討したい
㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			
㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			100%	・まだ機会がない
㉝	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		50.0%	50%	
㉟	個人情報の取り扱いに十分注意している	100%			

子ども発達支援ルームおれんじ学園sun

令和　4年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	70%	30.0%		
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%	・まだ機会がない
㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%			社内でBCPを作成して災害時の対応についてはお知らせを配布している
㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		50.0%	50%	消防計画にのっとって行っている
㊵	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%			看護師が対応している
㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			・社内規定にある虐待対応の研修を毎年受講している
㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			100%	・身体拘束ケースはない
㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%			
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			100%	・今後検討したい